



住宅部門  
事例

11

空き家利活用コンテスト2024 優秀賞（ライフスタイル賞）

## SAKAE HUB

人がつながる、未来へ住み継ぐ家  
～SAKAE HUB～



県内で賃貸生活を送る中で、地域の人々とのつながりを深める拠点をつくりたいと考え、2019年から空き家を探しを開始。改修の方針は「住み継ぐ」。ホームインスペクション(住宅診断)を活用し、必要な改修箇所を見極めながらコストを抑え、断熱・気密性にこだわった。夏は涼しく冬は暖かく、小さなエアコン1台で快適に過ごせる住まいとなった。

内装解体時には屋根裏に大量の砂や小動物の巣が見つかるなど、苦勞も多かったが、リノベーションに興味のある人を募り、DIYで漆喰塗りや庭の整備を実施。SNSを通じた呼びかけで「リノベ仲間」が集まり、その後も交流が続いている。

庭のブロック塀を一部取り壊し、芝生や植栽を施したことで、近隣住民とのコミュニケーションも活発に。BBQやボール遊びが楽しめる開放的な空間が生まれ、「こんな家に住みたい」「次は庭で集まりたい」と訪れた人々からの声も多い。

将来、次の世代へも住み継げるよう、シンプルな設計と可変性を意識した住まいは、暮らしの可能性を広げるとともに、新たなライフスタイルを提唱している。

「住み継ぐ」をテーマに、シンプルな設計と高断熱・高气密を追求。限られた予算の中で既存構造を活かし、補強を加えながら快適な住まいに。エアコン1台で夏は涼しく冬は暖かい、省エネ空間が実現した。





高気密高断熱重視でつくられ、窓も二重サッシを採用。暖かくかつ道路沿いであっても静かな室内空間に。一部壁はDIYで漆喰を塗り、棚も手作り。コストダウンと風合いを両立



キッチンはデザインが気に入ったシンクを採用しつつ、壁面はタイル風シートを活用しコストダウン。キッチン棚はアウトドア用品を活用している。





ゲストを招くことを考え、過ごしやすさを重視した設計に。シンプルでコストを抑えつつ、住み継げる工夫も。庭はオープンにし、季節の花や芝生を通じご近所との交流が自然と生まれる心地よい空間に。

[ DATA ]



- 【所在地】 境港市 【構造】 木造平屋建て
- 【改修後の用途】 鳥取県滞在時の住居、地域の方々と集まる拠点
- 【間取り構成】 LK・個室1室・キッチン・トイレ・風呂
- 【改修期間】 2021年5月～8月
- 【改修費用】 約600万円